

環境園芸学科 11月

1日味噌蔵見学、4日・25日野菜づくり、18日環境施設見学
11日のアジサイの植え付けの様子は、別に紹介します。

味噌蔵

蔵の杜小学校(野田味噌商店)

味噌は「作るもの」ではなく
「ひとねる」もの

樽:蓋のあるもの
桶:蓋のないもの

昔:味噌玉
今:プロテイン



【学生の声】

本物を追及する姿が
気持ちよかった。
「ひとねる」とは、環境
を整えてあげること。
味噌は育てるものとい
う言葉には重みがあると
感じました。



約150年前の大樽とその木肌



秋冬野菜の収穫

【学生の声】

今までやってきたことの再
確認テストで、自分の実力を
知ることが出来ました。
自身の理解度が
よく分かった。間違
ったところは再度見
直しする。



ジャガイモは、
花が咲いて
茎が倒れて
きたら収穫

ちようからい
ブロッコリーの頂花蕾は
斜めにカット

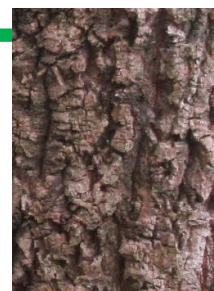


自然観察の森

【学生の声】

草木や生き物が調和して森を作っている
ことで、良い環境が保てるのが実感で
きた。

人間はその森を守り残す行動が必要と
感じた。この森は、戦後禿山だったと教え
てもらい、森を大切にすると自然豊かにな
るのだと思った。今日まで自然観察の森の
存在を知らずに過ごしてきた。もっと大人に
PRして来所してもらえれば、改めて自然の
大切さを感じてもらえると思う。



アベマキの樹皮
コルク層が厚く
弾力がある



ショウノウの匂い
楠の葉
防虫効果がある



リスが作った
エビフライ



エコット

【学生の声】

ゴミはしっかり分別して、温暖化を少しでも遅
らせなければと思いました。

自分たちの出したゴミの処理。施設、方法、
設備、コストを教えて頂き、削減、分別の必要
性を再認識しました。

焼却場の見学は大変参考になった。分別や
ゴミのリデュースを一層協力します。また、ボラ
ンティアの方も素晴らしいと思った。

